

手術室で抜去を行なった異物の症例に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部溝口附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年11月12日～ 2026年3月31日

〔研究課題〕

異物除去を行なった症例に関する後ろ向き研究

〔研究目的〕

外傷による異物に対して当院で手術を行なった症例について調査を行い、どのような例で摘出が困難であり、手術や術中の検査が必要かについて検討を行います。

〔研究意義〕

当院の手術室で異物の抜去を行なった症例について調査し、どのような例が全身麻酔や術中検査が必要かを検討することにより、今後の診療に役立てます。

〔対象・研究方法〕

2017年2月1日から2024年2月29日の間に当施設で外傷性異物に対して手術で摘出した方を対象に、手術時間や麻酔方法、術中検査などの情報を収集し、検討を行います。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部溝口病院

〔個人情報の取り扱い〕

患者様の個人情報は加工します。個人が特定されることはありません。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

〔その他〕

研究終了後、すべての情報は倫理委員会事務局に提出後、帝京大学臨床研究センターで10年間保管後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 村上 莉沙 職名 助手
研究分担者：氏名 菅 浩隆 職名 教授
所属：帝京大学医学部附属溝口病院形成外科
住所：神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1
TEL：044-844-3333(代表)〔内線 8340〕